



広報 常陸大宮

2016
8
No.143



主な内容

P2～3	9月1日は防災の日
P6	育児応援アプリ「ハッピー子育て」スタート
P8～9	動き出した友好都市交流
P10～15	まちのできごと
P16～17	スポーツクラブひたまる25活動報告

祇園祭（甲神社）
関東三大裸祭り

9月1日は防災の日

9月1日は防災の日です。防災の日は、大正12年(1923年)9月1日に発生した「関東大震災」を教訓に、また、この時期に多く発生する台風への心構えの意味も込めて、昭和35年(1960年)に制定されました。今年4月、熊本県と大分県で大地震が相次いで発生し、たくさんの被害がありました。

また、平成23年の東日本大震災では、本市も震度6強を観測し、甚大な被害を受けました。災害はいつ起こるかわかりません。いざという時、大切な命や財産を地震などから守るためには、日頃から災害に備えておく必要があります。

<災害時の心得>

早めの避難を	避難勧告が出た時や危険を感じた時は、隣近所の人と連絡を取りながら早めに避難しましょう。避難する前に、忘れずに電気・ガスなどの火元を消しましょう。	火の元もチェック!!
最新情報を入手	テレビやラジオを利用し、最新情報を入手しましょう。避難の呼びかけに注意してください。	ラジオやテレビで情報確認
避難は徒歩で	車で避難すると渋滞に巻き込まれるおそれがありますので、なるべく徒歩で避難しましょう。	
避難に適した服装	ヘルメットまたは帽子、長そでシャツ、長ズボン、軍手、底の厚い靴で避難しましょう。持ち出し品は、リュックサックなどに入れて両手を使えるようにしましょう。	
避難場所の確認	お住まいの地域の避難場所を、市のホームページなどで事前に確認しておきましょう。一次避難所は公民館や集会所、二次避難所は公園、学校などが指定されています。	避難所もチェック!!
家族で話し合いを	家族が離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを、あらかじめ決めておきましょう。	

常陸大宮市ホームページ ⇒ <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp>

(くらし → 避難所情報をクリック)

QRコードはこちら →



～シェイクアウト訓練を実施しましょう～

シェイクアウト訓練(ShakeOut)は、米国カリフォルニア州で2008年に始まった新しい地震防災訓練で、日本では一斉防災訓練ともよばれています。

この訓練は、大勢の人が自宅・学校・職場・外出先などで一斉に訓練を行うものです。あらかじめ決められた日時に大地震が発生したと想定し、各自が「Drop(まず低く、しゃがむ)」「Cover(頭を守る、かくれる)」「Hold On(動かない、待つ)」の3段階の「安全確保行動」を取るのが特徴です。

茨城県内では、高萩市、日立市、東海村、水戸市、桜川市、つくばみらい市が実施しています。水戸市では、ラジオ放送を利用した大規模な訓練に、14万人以上の方が事前にインターネットやFAXなどで参加登録をし、その日に防災無線やラジオ放送などで流れた開始の合図で机やテーブルの下に入り、揺れが収まるまで(約1分間)動かないという安全行動を取りました。

地震発生時、激しい揺れに襲われ何かが落下してくる時、あなたが安全行動を取れるまでの時間はたった数秒かもしれません。この訓練自体は、あらかじめ決められた時間に1分間安全行動を取るというシンプルなものですが、みんなで一斉に実施することで、参加者同士が一丸となって防災について考え、行動しているという実感がわき、結果として自分の身を守ることに繋がります。

防災の日を機会に、学校や職場、地域で、ぜひシェイクアウト訓練を実施してみてください。

備えておきたいもの

ヘルメット
家族の人数分

携帯ラジオ
FM・AM両方
聴けるもの

予備電池
多めに
用意

懐中電灯
一人1本ずつ

飲料水
ペットボトルで一人1日2～3ℓ
を目安に保存

非常食
そのまま食べられるものが、簡単な調理で食べられるもの(乾パン・缶詰・レトルト食品・インスタントラーメン・チョコレートなど)

救急医療品
常備薬・絆創膏・風邪薬・胃腸薬・目薬など

貴重品
預貯金通帳・健康保険証・免許証・現金など

生活用品
タオル・下着・衣類・毛布・ビニール袋・ティッシュペーパー・洗面用具・マスク・使い捨てカイロ・新聞紙・生理用品・軍手・ライター(マッチ)・ろうそく・携帯充電器など

乳幼児がいる場合
粉ミルク・ほ乳瓶・おむつ・離乳食など

生活用水
プラスチックのタンクなどに入れて保存

防災の日を機会に、もう一度、緊急時の連絡手段や帰宅経路の確認、停電時の備え、食料品の確保などを家族で確認して、災害に備えましょう。

参議院議員通常選挙 投開票結果

任期満了に伴う第24回参議院議員通常選挙が、7月10日に行われました。

投票は午前7時から午後6時まで市内74か所の投票所で行われ、午後8時から西部総合公園体育館で即日開票されました。

常陸大宮市における投開票結果は次のとおりです。

○投票結果 (在外投票含む)

当日の有権者数	男	女	合計
	18,673人	19,202人	37,875人

茨城県選挙区選出議員選挙

投票者数	男	女	合計	投票率
	10,776人	10,553人	21,329人	56.31%

比例代表選出議員選挙

投票者数	男	女	合計	投票率
	10,775人	10,553人	21,328人	56.31%

○開票結果

茨城県選挙区選出議員選挙

(届出順)

氏名	性別	年齢	所属党派	新現	得票数
石原 じゅん子	女	55	無所属	新	1,248票
中村 こうき	男	52	幸福実現党	新	218票
岡田 広	男	69	自由民主党	現	11,548票
ぐんじ 彰	男	66	民進党	現	5,014票
小林 きょう子	女	65	日本共産党	新	1,656票
むとう ゆう子	女	51	おおさか維新の会	新	1,092票

有効投票数 20,776票

無効投票数 553票

比例代表選出議員選挙

(届出順)

政党等の名称	社会民主党	国民怒りの声	おおさか維新の会	公明党	日本共産党	幸福実現党
得票数	582.998票	93.421票	967.538票	3,061.123票	1,960.610票	100.000票

政党等の名称	自由民主党	新党改革	日本のことを大切にする党	生活の党と山本太郎となかまたち	民進党	支持政党なし
得票数	9,402.347票	136.214票	117.000票	189.000票	3,737.740票	146.000票

有効投票数 20,494票

無効投票数 833票

※得票数の小数点以下は、按分票によるものです。

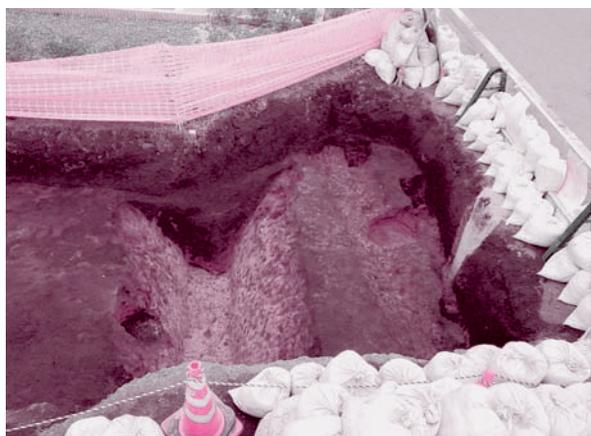
■問い合わせ■ 常陸大宮市選挙管理委員会 ☎55 - 8062

いしざわだい いせき
～石沢台遺跡の発掘調査の成果を報告します～

平成27年8月から9月にかけて、石沢地区での市道改良事業に伴い、石沢台遺跡第2次発掘調査が行われました。このほど、その成果がまとまりましたのでお知らせします。

石沢台遺跡では、平成24年度に住宅用地造成工事に伴って発掘調査が行われ、奈良・平安時代の住居の跡5軒他が確認された経緯があります。

今回の調査では、この集落がさらに広がりを見せることが確認されました。同じ時代の住居の跡が2軒確認され、第1次調査と合わせて7軒が確認されたこととなります。また、鎌倉から室町時代の生活の痕跡も確認されています。中でも特に注目すべき点は、1本の溝の跡です。この溝の跡は、断面がV字形をしていて、薬研堀と呼ばれるものでした。薬研堀は、外敵の侵入を防ぐ効果が高く、戦国時代等の城館に造られるものであるため、薬研堀が確認されるということは、ここに城館が構えられていたという可能性が高くなります。



▲確認された薬研堀



▲城館の位置関係図



▲調査区全景（西から）

これを受けて、改めて教育委員会が調査区周辺を調べたところ、各所に城館の名残が見つけたため、この付近を石沢^{いしざわだて}と名付けました。

大宮地域の戦国時代の城跡としては部垂城、宇留野城、前小屋城^{まへこやしじょう}が知られていますが、この三城を扇^{あし}に例えると石沢館は要に位置し、那珂川沿いの小場城へとつながる交通の要衝であったことも判ります。

発掘調査の成果からは、地域の新しい一面を垣間見ることができました。

今回の発掘調査では、たくさんの方にご協力いただきました。これらの成果は私たちのふるさと常陸大宮市の成り立ちを知るための貴重な資料となります。今後ともご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ■

生涯学習課 歴史文化振興室 ☎52-1450

育児を応援するアプリ「ハッピー子育て」に 今すぐ登録しよう!

「ハッピー子育て」は、常陸大宮市の行政サービスや救急時の連絡先、子育て関連施設・窓口など、子育てに必要な情報がいっぱい!



地域のイベント情報など
お出かけ先からも探しやすい!

ママやお子さんにピッタリの
情報がお知らせされる!

アプリのご利用で常陸大宮市からの行政サービス情報や子育て情報がタイムリーにお知らせされるので大切な情報を見逃すことがなくなります!



とっても便利な
スマホアプリを
使ってみてね!

アプリの使い方

① App Store、Google Playからアプリをダウンロード

子育て応援アプリ
「子育てタウン」



登録はQR
コードから

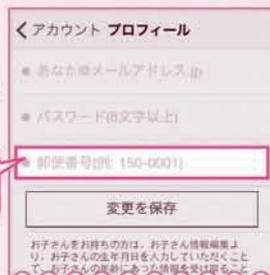
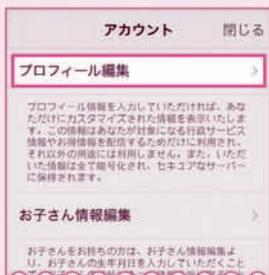


Apple および Apple ロゴは米国
その他の国で登録されたApple Inc.
の商標です。App Store は
Apple Inc. のサービスマークです。



Google Play、Google Play ロゴは、
Google Inc. の商標です。

② ダウンロードしたら、地域を登録! (※必須入力)

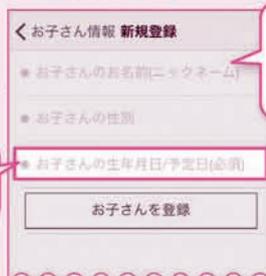
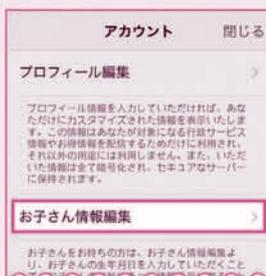


郵便番号を
入力!

※お住まいの自治体の情報は、
郵便番号を登録しないと見ることが
できません。

※メールアドレス・パスワード入力は
必須ではありません。

③ お子さんの年齢または出産予定日を入力!



お子さんの年齢(出産予定日)
を入れていただくと年齢にあった
情報がお知らせされます。

※ニックネーム、性別は必須ではありません。



■問い合わせ ■ 福祉課 子育て支援室 ☎52 - 1111 (内線138・140)

10月15日
公演決定!

いよっ、まってました!

西塩子の回り舞台 その3

～大宮北小学校の4年生、練習に励む～

公演まであと約3か月となった7月、大宮北小学校で行われている子ども歌舞伎の練習を見学してきました。

歌舞伎特有の身のこなしやセリフの稽古に、一生懸命取り組んでいるのは4年生16人。演目は、旧塩田小学校より代々引き継がれている「白浪五人男」と常磐津「子宝三番叟」です。4年生が歌舞伎を習うことは、もはや北小の伝統。今年は自分たちの出番と、秩父歌舞伎の猪野先生と那須烏山市の西川先生の優しくも厳しい指導のもと、6月から週2回の練習に励む子どもたちの表情は真剣そのものでした。

*歌舞伎「白浪五人男」

“白浪”とは盗賊のこと。日本駄右衛門や弁天小僧菊之介など、5人の盗賊の物語。また「知らざあ言って聞かせやしょう」などテンポよい名セリフでも有名。

*常磐津「子宝三番叟」

常磐津は歌舞伎音楽の一種。この常磐津の唄と演奏による、歌舞伎の幕開けに舞うおめでたい舞踊劇です。歌舞伎を見に来てくださったお客様の健康と繁栄を願う意味も込められています。



▲常磐津節の稽古に励む3人



▲先生の指導にも熱が…



▲抑揚をつけたセリフを練習中

■問い合わせ■ 歴史文化振興室 ☎52-1450
西塩子の回り舞台保存会 ☎52-3518 H P <http://mawari-butai.jpn.org/>

地域おこし協力隊

No.4

がゆく

地域おこし協力隊の岩崎です。大学院で歴史の研究をしていたこともあり、地域の歴史や民俗に関心があります。そこで、今は常陸大宮市文書館でボランティアに参加したり、歴史講座を受講したりしています。

少し前ですが、5月15日に行われた、西塩子の回り舞台保存会主催の田植えイベントに参加しました。田植えは、人生初挑戦でいろいろと不安でしたが、田んぼから足を抜く時にはゆっくり抜かないといけない事や、苗を等間隔で植えていく事の難しさを感じました。

今年は、西塩子の回り舞台の開催年です。先日、その勉強会がありました。その中で、回り舞台の歴史を学ぶうちに、先人の歌舞伎に対する思い入れや伝統を残しながらも現代に引き継いでいくことの大切さを知りました。今後も回り舞台の設営などで関わっていきたいと考えています。

今から10月が楽しみです。



▲田植えって楽しいけれど難しい

地域おこし協力隊のホームページ
「ごじゃっペライフ」はこちら



学び合い ～全国学力テスト日本一の秋田に学ぶ～

本市と大館市の友好都市推進事業の一つとして、授業力向上研修会が7月15日に実施されました。これは「確かな学力をほぐくむ授業づくり」と題し、本市の授業力向上につなげることを目的としています。

この日は、大館市立城南小学校の米澤貴子先生が大宮小学校で算数を、比内中学校の青山まり子先生が大宮中学校で英語の模擬授業を行いました。

大宮小学校で行われた授業には市内外の教職員約35人が参観。子どもたちの反応を見ながらテンポ良く問い、問題を解かせ、発表させる米澤先生の授業は、確かな学力と豊かな表現力を身に付ける「城南スタイル」を体現していました。子どもたちからは、「自分で問題を解く力がついた」「算数が少し得意になった」という感想がありました。

その後行われた全体会では、参観者と授業者が活発に意見交換。米澤先生からは、「課題は子どもたちと作る」、「時間を無駄にしないために見通しを立てる」、「不完全なほうが学び合いに有効」など、具体的で分かりやすいアドバイスがありました。



▲模擬授業（上：大宮小学校、下：大宮中学校）

交流を模索 ～友好都市推進協議会を発足～

7月19日、常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会が発足しました。

本市と大館市は、平成27年10月21日に友好都市協定を締結し、大館圏域産業祭やふれあい広場等への相互の出店、西の内紙の卒業証書を大館市立城南小学校へ贈呈するなど、教育・観光・産業の分野で交流を行ってきました。

この日の協議会には、両市の行政や商工、観光の代表者が出席。今年度の会長に本市の三次市長、副会長に大館市の福原市長が就任し、協議会の規約や事業計画、予算などについて話し合われました。



▲直売所内の大館市コーナーを見学



▲がっちり握手する三次市長と名村副市長

話し合いの中では、観光と産業について早期の部会設立や、避暑・避寒を目的とした相互の空き家活用などの意見が出されました。その後、会場となった道の駅常陸大宮かわプラザを見学。久慈川を臨むロケーションや、農産物直売所内の大館市特産品コーナーを視察し、お互いの交流促進について再確認しました。

今年度は、両市の資源を生かした新産品開発のための調査を行うとともに、都内でのPRイベントへ出店し、両市の魅力を高める事業を行う予定です。

動き出した友好都市交流

常陸大宮市×秋田県大館市

ふるさとを学び、知り、発見する ～小学生同士が交流～

7月27日から29日に大館市立城南小学校の子どもたちが、常陸大宮市の歴史や文化を学び、大宮小学校の子どもたちと交流するため本市を訪れました。

部垂城の話を聞く▶



▲紙漉き体験



▲両市の子どもたちで記念撮影

一日目は、大宮小学校で歓迎の会が行われた後、大館市とつながりのある部垂城跡や小場城跡を見学。部垂城跡地に建てられた部垂義元の墓志や、今も残る小場城の堀や土塁を見ながら市の職員の説明を聞き、当時の城郭の様子を思い浮かべました。小場城は川を活かした天然の要塞となっていて、子どもたちはかつて城郭のあった台地を目の当たりにし、感嘆の声を上げていました。

二日目は、児童交流会を行い、お互いの市の良さを資料や映像で紹介。お互いの市を比べることで、自分のふるさとの良さが再確認できたようです。その後、五介和紙工房で紙漉き体験をし、オリジナルの和紙を作成しました。この他にも市内の展望台や施設を見学し、常陸大宮市版のPR動画のための撮影を行いました。

子どもたちは6年生同士で、はじめは恥ずかしがる様子もありましたが徐々に打ち解け、ゲームや学校の話で盛り上がり、楽しそうな様子でした。また共通の目的をもって交流することができ、新しい発見や気づきを得ることができたようです。これからも交流の輪が広がることを期待します。

学校経営力の向上

8月5日、大館市立城南小学校の小井土校長を講師に招き、市内の小中学校長などが参加して「校長夏季研修会・ミドルリーダー研修会」を行いました。

研修会では、ふるさとを基盤とした「ふるさと教育」と人生の指針を描く「キャリア教育」を融合させた「ふるさとキャリア教育」について講話。「おおだて型学力」の推進と未来の大館市民の育成は、郷育立市を掲げる本市にとって参考になる、中身の濃い研修となりました。



▲学校経営について話す小井土校長

農業委員交流

6月30日、大館市農業委員会7人が来庁し、本市農業委員会との交流研修会を実施しました。研修会では、法改正に基づく新農業委員会の体制移行の問題点と課題、遊休農地対策、担い手への農地の利用集積促進等について活発な意見交換を行いました。

翌日は、JA常陸大宮地区枝物部会（小場地内）を視察。本市の耕作放棄地解消の取り組みについて話を聞き、有意義な研修となったようです。



▲現地で説明を聞く農業委員

7/7

ママも赤ちゃんも健康に

総合保健福祉センターかがやきで、関口雅代先生を講師に迎え、妊娠16週以降の妊婦を対象としたマタニティフィットネス教室を開催しました。

マタニティフィットネスとは、妊娠・出産などで変化する女性の体調やニーズなどに合わせた運動プログラムで、今とても注目されています。食事や休養に気を配るだけでなく、体を動かす生活をスタートしましょう。

この日参加した皆さんは、思ったよりハードな動きに息が上がる場面もありましたが、気持ち良い汗をかくことができたようです。

次回の教室は、10月頃に開催する予定です。詳細は広報常陸大宮お知らせ版をご覧ください。



▲体を動かしてエネルギー消費、体力アップ

7/6

農業を始めたい人へ

平成28年度常陸大宮市農業入門講座（主催：常陸大宮地域農業改良普及センター）の開講式と第1回講座が、道の駅常陸大宮かわプラザで行われました。

平成12年度から始まり、延べ約400人が受講しているこの講座は、新規就農者や定年退職後に農業を本格的に始めたい人向けに開講されています。

この日は27人が参加し全7回の日程を確認。1回目の講座では市の主要品目の紹介、奥久慈ナスやハナモモの栽培方法について話があり、受講者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

2回目以降は、先進農家での収穫や出荷の現地研修、農業・土づくりなどについて学習する予定です。



▲なすの栽培について説明

7/9

常陸大宮市のお宝を学ぼう

平成28年度「常陸大宮市のお宝発見事業」の第1回を、市内の小学校4～6年生42人が参加して実施しました。これは、市の掲げる「郷愛立市づくり」の一環として、平成25年度から実施している事業です。

午前中は、本市の泉坂下遺跡から出土した人面付土器や弥生時代の土器について説明を聞き、その後、御前山地域在住の陶芸家菊地弘さんの指導で陶芸を体験。好きな動物やお皿、器など、一人2つずつの作品を作りました。

午後は、予定していたジャガイモ掘り体験が雨のためできなくなり、室内のレクリエーションに変更。茨城大学の「子どもふれあい隊」メンバーによ

るいろいろなゲームや市の歌の合唱など、頭と体をたくさん使った体験を楽しみ、初めて会った他の小学校の児童とも打ち解けることができました。

参加者は、今回を含め全6回の体験をとおして、ふるさと常陸大宮市の魅力（お宝）を発見していきます。

○参加者の声

- ・昔の人は、こうやって土器を作っていたんだな、と思った
- ・みんなと協力してゲームができて楽しかった
- ・市の歌を最後まで覚えられてよかった



▲泉坂下遺跡についての説明



▲思い思いの器を制作しました



▲盛り上がったレクリエーション

6/29 高齢者クラブ連合会スポーツ大会

緒川運動公園グラウンドで「常陸大宮市高齢者クラブ連合会スポーツ大会」が開催されました。

この大会はクロッケー・ペタンク・輪投げ・グラウンドゴルフの4種目が行われ、各地域の代表チームが出場し、いばらきねんりんスポーツ大会の出場権を争いました。

約250人が参加して行われたこの大会は、高齢者の健康増進、仲間同士の交流や地域の親睦を深めることにもつながったようです。参加者の皆さんは、いきいきと楽しそうに、そして真剣に勝負に取り組んでいました。



▲メンバーの声援を受けてがんばりました

7/2 生瀬・山方の乱について検証

第1回文書館カレッジ「生瀬・山方の乱について一乱の発年代・事件の性格を中心に一」を、元佐竹高等学校校長の野上平さんを講師に迎えて開催しました。佐竹氏の国替え、水戸藩の成立という戦国から江戸時代への過渡期に起きたとされる「生瀬の乱」「山方の乱」について、古文書や言い伝えを素材に長年の研究成果について話がありました。地域の歴史には関心が高く、170人の来場があり、質疑応答でも熱心な議論が交わされました。

第2回は12月頃開催の予定です。



▲講演する野上平氏

7/3 漆の魅力を体験

山方地域の特産品である漆の魅力に触れてもらうため、漆塗り体験教室の第1回目を実施しました。

講師の山方漆ソサエティーの皆さんと本間健司氏の親切丁寧な指導のもと、市内在住の幅広い年代の15人が漆塗りを体験しました。

この全5回の体験教室をとおして、小皿2枚と箸5膳を仕上げる予定で、今回は生漆に砥の粉とカーボンをよく練って混ぜたものを塗る木地固め・下地の工程を行いました。

下地の作業が終わった小皿と箸は、漆を固化させる専用の「漆室」に入れられ、次回以降、漆を塗り重ねていく予定です。



▲木地全体に漆を馴染ませる作業をしています

6/28 文化財パトロール実施中!

文化財は地域の歴史や文化の生い立ちを理解する上で、欠くことのできない私たちの貴重な歴史的遺産で、市の文化発展の基礎となるものです。本市には、県・市指定の文化財や遺跡など多くの文化財が所在しています。皆さんも機会があれば、ぜひご覧ください。

また県や市では、これらの貴重な文化財を保護するために文化財保護指導委員による巡視を実施しています。今年度の第1回巡視は6月28日に実施され、市内の文化財・遺跡について異常のないことを確認しました。なお巡視は年3回予定されていますので、皆さんのお近くへ行った際には、ご協力をお願いします。



▲文化財巡視中（小貫地内）

7/12

自転車競技大会で表彰

7月7日に、「第53回交通安全子供自転車茨城県大会」がひたちなか市で開催されました。この大会で、大宮地区代表として出場した村田小学校の6年生5人が団体の部で第4位、個人の部で花野瑛さん（6年生）が第9位の成績を収め、市役所を訪れた子どもたちに教育長賞が手渡されました。

この大会は、交通ルール等の知識や自転車走行技能の習得、児童の交通事故防止啓発を目的としています。県内各地区代表の28小学校、選手112人が出場し、交通ルール等に関する学科試験と自転車の基本的な乗り方を習得する実技を競い合いました。



▲表彰された村田小学校の皆さん

7/22

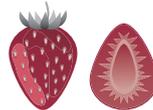
優れた農業経営を実践

新たに県青年農業士に認定された菅野大志さん（野口）が市長室を訪れ、認定の報告を行いました。

菅野さんは県外出身で、御前山地域の景観の良さやイチゴ栽培に適した環境、常陸大宮地域農業改良普及センターや市の新規就農者への手厚い支援などが決め手となり、この地でイチゴ作りをはじめました。

現在では「いばらキッス」「ひたち姫」「とちおとめ」など多品種を栽培していて、今後も活躍が期待されることから、本年度より青年農業士として知事からの認定を受けました。

今年度、茨城県で青年農業士の認定を受けたのは29人です。



認定を受けた▶
菅野大志さん



7/1

地域に根ざした活動に貢献

市の人権擁護活動に多くの功績があったとして、寺門延幸さん（下村田）が法務大臣から表彰されました。寺門さんは、平成15年から人権擁護委員として、市民からの人権相談や人権思想の啓発活動を積極的に行うなど、4期にわたり広く人権擁護活動に貢献されました。

また和知好美さん（高部）は、市人権擁護委員として、法務大臣から委嘱（再任）されました。和知さんは、平成19年に人権擁護委員に就任、現在まで広く人権擁護活動に尽力されています。

なお、新任の市人権擁護委員として、山崎江里子さん（下村田）が法務大臣から委嘱されました。



▲寺門さん(左)と和知さん(右)

▲山崎さん

7/27

霞ヶ浦の水や生き物を学ぶ

市内小学生とその保護者30人が参加して、霞ヶ浦湖上体験スクール（主催：市環境市民会議）が実施されました。

はじめに、土浦市の霞ヶ浦環境科学センターに到着。施設内で霞ヶ浦の歴史や地理、文化などの説明を受けました。その後バスで移動し、船に乗って湖上体験へ。霞ヶ浦の水質や生物について学んだ後、実際に透明度を確認し、水の濁りを比べたり、汲み上げた水をルーペで確認したりし、水生生物や微生物を調べました。野鳥や植物、魚など様々な自然を観察することで環境とくらしにどう関わっているか、楽しみながら学ぶ貴重な体験となりました。



▲実際の湖水で透明度を調べました

7/24

常陸大宮市の三大江堰を学ぶ・巡る

歴史・生涯スポーツ・環境のトリプルツアーとして「三大江堰を学ぶウォーキング」が開催されました。これは市まちづくりネットワークが主催し、市の三大江堰である岩崎江堰・辰ノ口堰・小場堰や中世城郭跡などを巡り、ふるさとの歴史を学びながらウォーキングやゴミ拾いをしようと企画されたものです。

この日は晴天に恵まれ、56人が参加。道の駅常陸大宮かわプラザからスタートして、まず岩崎堰旧取水口や水路を辿りました。講師の野上平先生より、開設した堰が洪水で役に立たなくなり移築されたことや、当時はずっと水量が多かったことなどを聞き、参加者は当時の様子に思いを馳せました。

その後、辰ノ口堰・宇留野城跡・前小屋城跡などを見学。佐竹氏の秋田移封に関連して廃城となったことやダイダラボッチの足跡といわれる池のいわれなどについて話を聞きました。また全国でも有名な人面付土器が出土した泉坂下遺跡も見学しました。

お昼を挟んだ後は、三美にある滝ノ上遺跡と小場堰へ。普段は入れない水門の近くで、間近に小場堰を見学しました。

参加者からは「身近なところに遺跡があると知ることができてよかった」「知りたいことがたくさんあるのでツアーをシリーズ化してほしい」などの声があり、主催者は次回開催に向けて意欲を示していました。



▲解説する野上平先生



▲前小屋城跡で解説を聞きました



▲水路を右手にウォーキング

7月

犯罪防止と立ち直りを支える地域のチカラ

7月1日、市役所で「第66回社会を明るくする運動」に関する内閣総理大臣からのメッセージが、那珂地区保護司会大宮分会会長岡山和夫氏ほか2名から市長へ伝達されました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

7月23日、市文化センターで「第66回“社会を明るくする運動”常陸大宮市民の集い」が開催されました。

この集いでは、茨城大学特任准教授の長谷川幸介先生を講師に招き、『社会は人間の「しあわせ」装置』と題した講演会が行われました。「人が幸せになる条件は、血縁・地縁・友縁・職縁でつながる社会である」との先生の話に、多くの市民や関係者が熱心に耳を傾けていました。



▲メッセージを市長に手渡しました



▲講演する長谷川幸介先生

市民の方から まちのできごと

7/17

盛金で3年に一度の神幸祭

山方盛金地区で、3年に一度の素鷲神社の神幸祭が行われました。この祭りは、地区の住人が担ぎ手となり、神輿が各地域を回ります。そして氏子総代の庭先等を祈祷場所として、住民の健康と安全を祈願します。



この日は梅雨明け前でしたが、湿度が高く、担ぎ手もお休み所で待つ人たちも全員汗だく。それでも威勢の良い神輿をもむ声に、見物人から声援が送られていました。



▲順路を逸れて久慈川でお清め

7/25

来場者30万人達成

道の駅常陸大宮かわプラザの来場者が、30万人を突破しました。記念すべき30万人目の来場者となったのは県外から訪れた3家族。千葉県市原市から来た羽野さん夫妻は観光で、神奈川県横浜市の小山さん・高橋さん家族は太子町でのキャンプのため来場したそうです。

記念として駅長から商品券が送られ、「さっそく道の駅での買い物に使いたい」と話していました。



▲道の駅の遠藤駅長と記念撮影

市民の方から まちのできごと

6/26

小田野でふれあいまつり

梅雨の晴れ間の暑い一日、小田野山村広場で、第6回小田野区ふれあいまつりが開催され、約120人が参加しました。



◀入念に準備体操

開会式では、旧小田野小学校の「山の子のうた」が歌われ、「パン食い競争」や「飛んでMYシューズ」などの競技に声援が送られました。

また若衆会や友の会の皆さんの出店があり、山車から聞こえるお囃子の音色や子供神輿の掛け声がお祭りを盛り上げました。



▲選手宣誓は6年生の3人です

6/3

スポーツ推進委員表彰

関東スポーツ推進委員研究大会で、本市のスポーツ推進委員の藤田佳史さんが長年の功績を認められ、功労者表彰を受けました。藤田さんは、昭和63年に緒川村体育指導委員に就任し、同村体育指導委員会委員長を歴任。現在は、市スポーツ推進委員会副委員長や市スポーツ少年団本部長を務め、市民がスポーツを通じて健康で豊かな暮らしを送るためのお手伝いに力を注いでいます。



▲ 表彰された藤田さん（中央）

市民の方から まちのできごと

全日本クラブ卓球選手権大会に出場

7月15日から18日にかけて大阪府で行われた、第35回全日本クラブ卓球選手権大会の小・中学生の部(女子)に、茨城県代表として西部総合公園体育館で活動している球友クラブJr.が出場しました。選手は日ごろの練習の成果を発揮し、全国の強豪クラブを相手に堂々とした戦いをみせました。

参加者：球友クラブJr.(女子) 木村博監督

四倉鈴(大宮中3年)、佐藤幸美(明峰中3年)

宇留野理沙(大宮中1年)、菊池心愛(大宮中1年)

川西彩聖(大宮中1年)、川西唯加(大宮西小5年)

菊池結愛(大宮西小4年)



▲全力を出し切った球友クラブJr.の選手たち

いっしょにまちづくり

「三大江堰を学ぶウォーキング」に参加して

三大江堰を造ったのは永田茂衛門、勘衛門親子である。その子孫が知人で、興味があり「まちづくりネットワーク」主催のウォーキングに参加した。まず、岩崎・辰ノ口堰を巡り、江戸時代の久慈川は現在よりずっと水量が多く、また川底も高く位置も違っていたとの説明が興味深かった。今の様な機械も道具もない時代に、わずか2～3年で各江堰を完成させたスピードに驚き、当時の土木工事レベルの高さに感心した。その後「宇留野城跡」「前小屋城跡」「泉坂下遺跡」を巡り、心地よい汗をかいた。昼食は天然鮎の塩焼きとおにぎりに素麺で、つめの器は青竹を切り出したもので風情があり、大満足だった。午後は那珂川の小場堰を見学した。文化遺産を巡りながら名産の鮎を食し、久慈川、那珂川から市の魅力を再発見できた素敵な1日だった。



山崎 勝弘さん

7/17

スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会

6月12日に行われた、スナッグゴルフ対抗戦茨城B地区予選会で優勝した大宮小学校の児童6人が、福島県のグランディ那須白河ゴルフクラブで開催された全国大会に出場しました。

大宮小学校は昨年から2年連続の全国大会出場で、那珂カントリークラブのゴルフ場を借りて、この日のために一生懸命練習に取り組んできました。

大会には6人のプロゴルファーが参加し、子どもたちはプロと一緒にプレーできて、緊張しながらも楽しんでいる様子でした。またこの日は、時おり小雨が降るあいにくの天気で、水気を吸った芝とボールに苦労しましたが、子どもたちは元気いっぱいプレー。参加28チーム中、11位(85ストローク)の成績を収め、日頃の練習の成果を発揮することができました。

<出場選手・監督>

坂井花凜・小室咲貴・高梨美優菜・栗田颯姫
見代美咲・佐久間貴大・三村拓郎監督

<個人賞>

ホールインワン賞 見代 美咲
アルバトロス賞 佐久間貴大

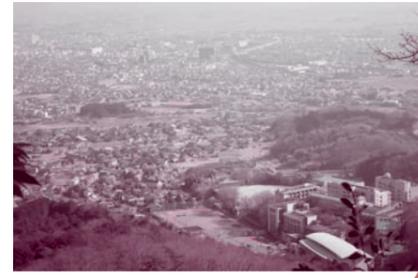


▲みんな力強いショット!! (上)
試合を終えて笑顔の選手たち (下)

スポーツクラブひたまる 25 活動報告

スポーツクラブひたまる 25 では、市内各所でエクササイズやウォーキングなどの教室・イベント等を開催しています。会員、参加者を随時募集中です。お問い合わせは下記まで。
 ひたまる25事務局 ☎ 55-9666 FAX 55-9667 生涯学習課生涯学習グループ ☎ 52-1111 (内線 342)

3月26日 春の太平山ハイキングと
“蔵の街” 栃木散策



7月2日 ひたちなか親善大使と歩く平磯ノルディックウォーキング



祝・スケートボード
五輪種目採用!



▲スケートボード教室
(月2回 土曜 9時~10時30分)

目指せ!体操
金メダリスト!



▲器械体操教室
(月2回 火曜 18時30分~20時)

山方公民館体育館



大人気の
エクササイズ
シリーズ!



▲コアトレーニング教室
(月2回 火曜 夜)



▲ヨガ教室
(月1回 第3土曜 昼)



▲痛みとりストレッチ教室
(月2回 火曜・金曜 昼間)



▲ゴムバンド
トレーニング教室
(月2回 木曜 昼・夜)



▲ピラティス教室
(月2回 水曜 昼・夜)



▲タグラグビー教室
(月2回 土曜 9時~10時30分)



▲スポーツ吹矢クラブ
(火曜 13時~14時30分)

○その他のニュースポーツクラブ活動 (※年末年始等を除く)

- | | | |
|------------|---------------|--------------------------|
| ラージボール卓球 | (水曜) | 13時~14時30分 |
| ユニカール | (火曜・水曜
金曜) | 15時~16時30分
13時~16時30分 |
| グラウンドゴルフ | (火曜~日曜) | 13時~16時30分 |
| ニュースポーツ太極拳 | (第2・第4木曜) | 14時~15時30分 |

大宮北小学校

おおみやコミセン

常陸大宮市役所

旧大場小学校

西部総合公園

いよいよ来月開幕!

いよいよ9月17日から、県北地域を舞台とした現代アートの祭典「茨城県北芸術祭」が開幕します。今回は6月号に続き、本市に展示される魅力あふれるアーティストによる多様な作品を一部紹介します。各会場では、開幕に向けた作品制作の様子が急ピッチで進んでいます。

皆様のご来場をお待ちしています。

旧家和楽青少年の家

タワッシャイ・ブンサワツ



《Southeaster Wind》 2007

石沢地区空き店舗 内海聖史



《29の不在と長い壁》 2015

旧美和中学校 津田翔平



《闕》 2014

旧美和中学校 magma



《FUTURE SHOCK》 2009

CALAR.ink in 旧美和中学校



絵本の中を体感できる
作品や舞台装置を制作

magma in 旧美和中学校



廃材や木を用いて空間を
演出

現在作品制作中

☺ 善意をありがとう ☺

<大賀保育所へ>

6月23日、大賀保育所へ匿名で寄附金が届けられました。「大賀保育所の子どもたちの成長を応援しています。子どもたちの活動の幅を広げてほしいと思い寄付します。行事や卒園生との交流の補助に使っていただけたら幸いです」と手紙が同封されていました。

<匿名 30,000円>

<道の駅常陸大宮かわプラザへ>



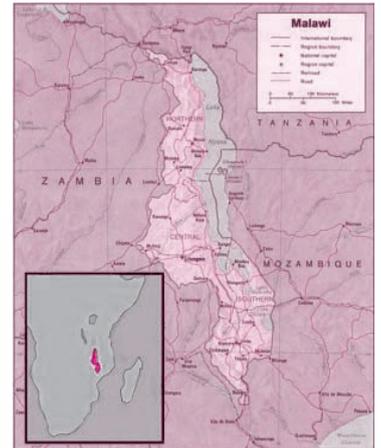
瑞穂農場 テーブル28卓・椅子17脚



海外通信 from マラウイ No.5

昨年1月に、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに派遣された小河原香織さん（市内野上出身）から、5通目のお便りが届きました。

「感動」 小河原 香織



9月に始まり、7月で終わるマラウイの学校に来て、今学期をもって1年間が終わります。これまで17校ある管轄校のうち、5キロ圏内・10キロ圏内・15キロ圏内と制覇し、15校に足を運ぶことができました。ここに来た当初は、TDC（教師研修センター）の同僚に連れられて訪問していましたが、PEA（初等教育アドバイザー）が変わり、何かと忙しい同僚を見ていて、1人で巡回するように変更しました。今ではマンゴーの木、バオバブの木、そしてお墓の目印となる木などが分かるようになりました。赴任した頃は、学校から徒歩で20分離れた自宅に帰るのにも、1時間迷ったことがありました。ここシャープバレでは1本道を間違えると、特別な建物が少ないため、私にはどの景色も同じように見えてしまい、時間とともに体力も奪われます。

私が活動の拠点を置くシャープバレプライマリースクールには、最長10キロ離れたところから徒歩で約3,000人の児童が、そして約30人の教員が毎朝通って来ます。15校を巡って感じることは、どんどん奥地に入るにつれ、教員数が減少していくことです。Standard 1～8（日本でいうところの小学校1年～中学校2年生程度）に対し、最小5人の教員で、手分けして運営している学校も1校にとどまりません。そしてそんな学校には、女性教員は見当たらないことが多いのです。その理由として、生活するのに不便な場所が多いからでしょう。この環境では、買い物をする場所がなく、週一回開かれる遠く離れた市場へ行きます。

シャープバレは盆地であるため、丘の上にある学校も珍しくないのですが、この場所では井戸に行くのに坂を上ったり下ったりしなければなりません。たいてい学校周辺に家を構える先生方は、突然訪問した私をフットワーク軽く迎え、青空の下、木の下の教室を毎回喜んで案内してくれます。

「どっぶりつかりなさい」とJICAのあるスタッフさんに言われ、これまで生活してきました。水汲みや食事の支度、洗濯等をお手伝いさんに任せて活動をしている隊員も多い中、私を心配して「完璧主義にならずに…」とアドバイスをしてくださる方もいます。ただ、自分が普段から彼らと同じように生活しているからこそ、心身から溢れる感情が自分の中に湧き上がってくるのも事実です。そこから発した質問を先生方にぶつけると、皆さん、共感しながらさらに詳しく、井戸の場所や市場の場所まで身振り手振りを交えて説明してくれます。新しい教員がなかなか来てくれない環境の中でも、彼らはここを離れず、働いていてくれる数少ない先生方なのです。そのおかげで、彼らの児童たちはさらに遠くの学校に通うことなく、家の近くの学校で今日を過ごすことができます。

去年1年間培った学びの上に、新たな気づきが芽生えました。今の私は、井戸でバケツ一杯になった水を、自力で頭にのせるアマイ（お母さん）のために、自然に手助けを始めることができます。感動するとは、そういうことではないかと思えます。

☆電気通信事業法が改正されました☆ ～光回線やスマートフォン等の契約書面は しっかり確認しましょう～

①利用者に配慮した説明義務

電気通信事業者及び代理店は、契約をする前に料金その他の提供条件について説明をしなければなりません。配慮が必要となる利用者に対して、その知識、経験、契約目的に配慮した説明を契約前に行うことや、契約等が自動更新される際に、事前に通知することが義務付けられました。

②契約後の書面交付義務

事業者は、電気通信サービスの契約が成立した後は、遅滞なく消費者に個別の契約内容を明らかにした書面（契約書面）を交付しなければなりません。

③初期契約解除制度の導入

契約書面の受領日を初日とした8日が経過するまでの間は、電気通信事業者の合意なく、消費者の申し出により電気通信サービスを契約解除できる制度です。

※ただし、電気通信サービスと一緒に購入した端末・サービス等の契約は対象外です。

【消費者へのアドバイス】

- 契約書面の交付形式、契約内容を確認しましょう。
- 事業者が説明することをしっかり理解し、納得してから契約しましょう。
- 電気通信サービスの契約に問題があった時は、早めに契約先の事業者へ申し出ましょう。
- 不安に思うことやトラブルになった場合には消費生活センターへ相談しましょう。

【問い合わせ】

茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通) (本庁商工観光課内)
※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



VOL.26

職員をつぶやき ～職員リレートーク～

今年採用された市民課の寺門愛加です。ついに書く順番が回ってきましたので、少々書かせて頂こうと思います。

私が社会人になって早4か月が経ちました。職員として働いていると、1日の時間の流れが早く感じる今日この頃です。

市民課での仕事は覚えることが多いことに加えて、窓口でお客様と接する時間が長いです。ですから毎日大変ではありますが、不思議と仕事が嫌だと思いません。それは職場の皆さんの存在が大きく影響していると思います。その先輩たちの負担を少しでも減らせるように、1人でも多くのお客様の要望に応えられるように、今はまだ出来ないこともこれから学んで覚えていきたいと思えます。



▲窓口は笑顔で対応

巻き爪について

みなさんは、爪はどのように切っているでしょうか。

今回は巻き爪についてのお話です。巻き爪とは、爪が変形して皮膚に食い込んだ状態のことです。食い込んだ爪が皮膚を傷つけ、痛みが出ます。ひどくなると爪の周りが赤く腫れたり、膿が出たりします。もっとも巻き爪を起こしやすいのは足の親指です。



巻き爪はいろいろな原因で起こります。靴やハイヒールによる圧迫、スポーツによる刺激、加齢による爪の変形、爪白癬（水虫）、や遺伝的要因もあるといわれています。

その中でも大きな原因に爪の切り方があります。

巻き爪で来院される方の多くが、爪を短く切りすぎています。もともとの習慣なのか、爪が当たって痛むためか、かなり短く切っています。これはいけません。深爪をすると、爪を切った時点で皮膚まで傷つける危険があります。また切った時点では問題がなくても、爪が伸びてくる際に皮膚に当たって傷をつけることがあります。そうなってしまうと悪循環です。

『爪が当たって痛むので爪を短く切る → 伸びてきた爪が皮膚に食い込む → また痛みがでる』の繰り返しとなってしまいます。

では爪はどう切るべきでしょうか。おすすめはスクエアカットと呼ばれる切り方です。爪を丸くではなく、横方向に直線的に切ります。さすがに端っこが尖っているのは気になる方もいると思いますので、少し丸みをもたせてもかまいません。大事なのは、皮膚よりも爪の方が少し長いくらいにしておくことです。こうすることで巻き爪の予防になります。

また、サイズの合わない靴も巻き爪の原因になるため、靴を買う時はお店の人に見てもらって、しっかりとサイズの合うものにしましょう。

それでも巻き爪になってしまった時は、抗生剤の内服や、軟膏での処置が必要になりますので病院を受診しましょう。治りの悪いものに対しては、手術が必要なこともあります。

健

康

通

信

常陸大宮済生会病院

形成外科部長
松本 剛 先生

ふるさと見て歩き 第107回

水郡線 誕生

本市を縦貫するJR水郡線は、貴重な公共交通機関として私たちの生活に欠かせない存在です。今回は、水郡線誕生のエピソードを紹介します。

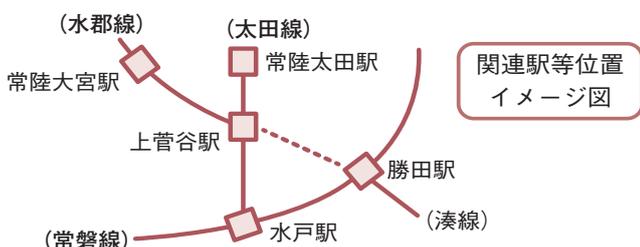
水戸から郡山に至る鉄道計画は、明治44年の第27回帝国議会に「白水線（白河—水戸間）鉄道建設建議案」として、政友会の根本正、白石義郎代議士らによって提案されたことに始まります。

この議案は、数度の審議により常磐線勝田駅を起点とし、菅谷・大宮・大子を経て白河に至る路線とするよう修正されて衆議院を通過しました。当時、勝田駅からはすでに湊線が敷設されていて、湊方面と大宮等の内陸部を結ぼうとする目論見があったようです。

しかし着手直前の大正4年4月、総選挙で政友会は大敗します。新しい内閣が発足すると、この議案は一転して否決に追い込まれてしまいました。

一方、水戸—太田間の太田線は、太田鉄道株式会社によって明治32年に開通していました。その後、経営譲渡された安田財閥系の水戸鉄道株式会社が、大正4年12月、上菅谷—大宮間の鉄道敷設免許を申請します。これには、勝田—大宮間に鉄道ができてしまうと太田線は不利益を受けるため、先に鉄道を引いてしまおうという思惑があったといわれています。

この水戸鉄道の動きに対して、根本代議士はじめ周辺町村は一斉に反発し、認可しないよう政府に働きかけます。しかし同5年に政府の認可は下り、上菅谷—大宮間は同10年に水戸鉄道によって開通しました。



これを受けて、勝田—上菅谷間の敷設計画は白紙となり、根本代議士らは大宮以北に目を向けます。大正6年3月の総選挙で今度は政友会が勝つと、鉄道建設の議案は再び可決され、名称を「大郡（大宮—郡山）鉄道」に改めて進められました。

「大郡線」は同9年に着手された後、同11年12月には山方宿まで、同14年8月には上小川までが順次開通していきます。そして昭和2年3月10日、大子まで開通し、この日の大子駅前では、盛大な式典が催されたようです。

同年3月31日、政府は水戸鉄道を買収し、すでに営業されていた水戸—大宮間と合わせて、水戸—大子間を「水郡線」と名称を改めます。その後、郡山から南へ延びる線を「水郡北線」、大子から北へ延びる線を「水郡南線」と称してそれぞれに工事が進められました。昭和9年12月、最後に残った磐城棚倉—川東間が開通し、帝国議会建議以来23年をかけて、ついに水戸—郡山間142.4kmが全線開通したのです。

水郡線の経路は、現在でも開通当時とほとんど変わっていません。また開通当時に設置され、90年以上経過した現在でも供用されている施設が各地にあります。



◀館トンネル
石積。山方城跡の地下を貫く



◀第一岩崎開きよ
岩崎江堰用水路を跨ぐ。橋脚外面はレンガ



◀山方宿駅ホーム待合室
建築年を示す「T11」が残る

もちろんこの他にもありますので、ぜひ探してみてください。水郡線に揺られながら、往時に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



◀キハE130系
平成19年から運用中のディーゼル動車。写真はE132形

【参考文献】

『那珂町史 近代・現代編』、『瓜連町史』

歴史文化振興室 ☎52-1450



女性の子カラを消防に ～女性が活躍している消防関係団体を紹介～

①常陸大宮市消防団女性分団

近年、仕事をしている女性や家事をこなしている主婦の方、そして頑張ってお母さんたち、「私たちの地域は私たちが守る」という強い思いを持って消防団で活躍しています。消防団と聞くと、男性を思い浮かべる人が多いと思います。しかし実は消防団には、女性が活躍できる活動がたくさんあるのです。

本市では、現在23人が女性消防団員として活動しています。

常陸大宮市消防団女性分団は、消防本部が主催する普通救命講習会に講師として参加し、一般市民の方に心肺蘇生法やAEDの使用方法などを指導しています。また、大規模災害発生時に炊き出しを行うなど、男性団員が円滑に活動できるようサポートをしています。



※ 女性消防団員…通常の消防団員と同じく、地方公務員法及び消防組織法で身分が保証された非常勤の特別職地方公務員です。

②常陸大宮市女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭での火災予防の知識の習得や、地域全体の防火意識の高揚などを目的として、家庭の主婦などが中心となって活動している民間防火組織です。

現在市内には6つの女性防火クラブがあり、消防署の協力を得て、消火訓練や炊き出し訓練を行うとともに、消防出初式や火災予防週間中の広報などに参加し、地域の方々との交流や防火啓発、住宅用火災警報器の設置推進PR活動などを行っています。

※ 女性防火クラブ…消防本部等による指導を通じて、地域の女性が共同して一緒に防火に関する知識を学び、地域活動をするを目的として結成された民間防火組織です。

今月の耳より情報



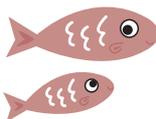
今月号のテーマ「家族でお出かけおすすめスポット」に、情報が寄せられました。

「山方淡水魚館」

こじんまりとした小さな施設ですが、意外にレアなお魚さんがいます。

幻の魚イトウや特別天然記念物のオオサンショウウオがいて、お魚オタクの子どもたちは大喜び。日によっては、お魚タッチもさせてくれるそうです。

その後は近くにある清流公園へ。久慈川のゆったりした流れを楽しむことができます。 Tさん



10月号の情報を大募集!!

10月号のテーマは、「私のイチオシのランチ」です。市内の飲食店や自分で作った手作り弁当、のんびりできるランチの場所などについて、ぜひおたよりをお寄せください。

9月20日(火)までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課
☎52-1111 (内線312)

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6

Eメールアドレス

→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードからの投稿はこちら→



ひたまるがゆく

7月16日に宇都宮市で行われた「2016いばらきの夏観光キャンペーン」に、常陸大宮観光大使の加藤木あゆみさんと参加してきました。

イベントでは、加藤木さんと一緒にこれから行われる本市のイベントPRと、ひたまるに関するクイズを出題。正解者には特産品のゆず・りんごサイダーとゆずジンジャエールをプレゼントしました。

夏から秋にかけて、市内各地では様々なイベントが開催されます。たくさんの方が常陸大宮市を訪れ、楽しんでもらいたいと思うひたまるでした。

今年もひたまるは「ゆるキャラ®グランプリ2016」にエントリー。
投票よろしくお願ひします！



▲観光大使の加藤木さんと

QRコードからの
投票はこちら→



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.24

スポーツクラブひたまる25では、誰でも気軽に取り組めるスポーツとしてノルディックウォーキングの普及に力を入れています。このスポーツは、両手でポールを持って歩くことで身体の左右均等に負荷をかけることができ、さらに長い距離を歩くことで健康増進につながります。加齢によって身体が衰え、片杖をつけて歩いている方も、ノルディックウォーキングに取り組むことで、健康な身体を取り戻すことができます。

スポーツクラブひたまる25では、毎月第3土曜日、午前9時に西部総合公園体育館前に集まり「月1ノルディックウォーキングで歩こう会」を実施しています。ポールの貸し出しもしていますので、気軽に体験してみてください。

■問い合わせ■ スポーツクラブひたまる25事務局 ☎55-9666 FAX 55-9667
生涯学習課 生涯学習グループ ☎52-1111(内線342,343)



タマアジサイ



(ユキノシタ科アジサイ属)

御前山ピオトープ周辺の植物等

山地の谷間や沢沿いなどに生える落葉低木で、高さ1~2mになります。7~9月頃枝先に直径10~15cmの花序を出します。周りには雌しべも雄しべもない白色の装飾花をつけ、中央部には紫色の両性花(雌しべと雄しべをもち果実を結ぶ花)を多数つけます。開花前の花序が総包(花柄の先端に葉の変形した包葉がたくさん集まったもの)に包まれて球形をしているのが名前の由来です。花序が開くと総包は落ちてしまいます。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(8月1日現在・推計常住者)

総人口 42,069人

(男 20,720人 女 21,349人)

世帯数 16,075世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 8月 第143号

発行日 平成28年8月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

